

図書室だより vol. 16

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。
今月も皆さんからのリクエストのほか、新刊・話題の本を数多く取り扱っていきますので、ぜひご利用ください。

文化の森からのお知らせ



平成29年度天栄村成人式・2分の1成人式

8月15日(火)に平成29年度成人式・2分の1成人式が行われました。今年の成人式対象者47名が晴れて大人の仲間入りをしました。また、2分の1成人式者も47名が対象となりました。

新成人と2分の1成人一人ひとりの名前が呼ばれ、新成人では小針佳奈子さんが、2分の1成人では各学校代表児童が代証書と記念品を受け取りました。式典の最後には新成人代表の石塚好将さんが謝辞を読み上げこれまで支えてくれた方々に感謝の気持ちを表しました。

成人者・2分の1成人者ともに、人生の節目である式典に堂々と臨んでいました。



今月のおすすめコーナー

・月間おすすめ本紹介コーナーでは、読者の皆さんから図書室内の本について他の人にお勧めしたい本を200文字程度で書いてもらい、その作品を紹介するコーナーとなります。
おすすめ本紹介は、図書室カウンター前に応募用紙がありますので、おすすめしたい本がありましたらぜひ投稿してください。

- ・募集期間 随時
- ・募集内容 文化の森 てんえい「図書室」内にある図書
- ・投稿文字数 200文字程度

・おすすめしたい本を2作品紹介いたします。

館長のおすすめ本

【あおい】 著・西加奈子 小学館文庫

三十七歳の「あたし」は、年下のカザマ君と同棲している。アルバイトしていた会社で先輩の雪ちゃんが好きだったカザマ君を獲ってしまっただけでなく、いつか妊娠していることに気付いた「あたし」は、バイトを辞め、一人長野のペンションでバイトをすることに。でも、なんかいやになって、脱走。真っ暗な夜の道を歩いていながらいろいろ思っただけで…今どきの女性の心模様を等身大の言葉で表現しながらも、その奥にあるかすり傷を描いている、西加奈子の作品である。その他に、友達のお葬式での風景を切り取った「サムのこと」と、恋人との別れ際の風景を切り取った「空心町深夜2時」を収録している。どれも明るくてポップなそれでいてちょっと哀しい描写が素敵である。



Tさんのおすすめ本

【僕は小説が書けない】 著・中村航 中田永一 角川書店

この本はなぜか不幸を呼び寄せってしまう高校生の光太郎が、部の存続をかけて小説を書くことになる。もともと引っ込み思案で心を開けず親しい友人もいなかった。また、父とは血が繋がっていないことが判明し、家族との距離感が出てしまう。そんな光太郎が廃部寸前の文芸部に入ることになり、先輩やOBに振り回されながら自分の物語を探し出していく話です。

